

【共通の設問】「なむ」を識別せよ。(答え・解説は解答編)

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

- Q1.
春来（こ）なむ。
- Q2.
雨降らなむ。
- Q3.
月なむ清く照る。
- Q4.
死なむ。
- Q5.
物言ひなむ。
- Q6.
君も来なむ。
- Q7.
春なむ待ちける。
- Q8.
風吹かなむ。
- Q9.
早く帰りなむ。
- Q10.
月なむ輝く。
- Q11.
心安く眠らなむ。
- Q12.
物言ひなば、咎めらる。

Q13.

我れ往なむ。

Q14.

知りなむ。

Q15.

君やなむ思ふ。

Q16.

春来なむと思ふ。

Q17.

早く起きなむ。

Q18.

月見なむ。

Q19.

雨止まなむ。

Q20.

花咲かなむ。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21.

花咲きなむ。

Q22.

風も吹かなむ。

Q23.

我が宿なむよき。

Q24.

早く死なむ。

Q25.

急ぎ行きなむ。

Q26.

子もすこやかに育たなむ。

Q27.

我が宿なむ梅咲きける。

Q28.

我れ往なむと思ふ。

Q29.

早く忘れなむ。

Q30.

月の都へ帰らなむ。

Q31.

雪なむ降りける。

Q32.

我れも死なむ。

Q33.

言ひなむとすれど、声出です。

Q34.

故里に帰らなむ。

Q35.

雪降る夜なむ心細き。

Q36.

急ぎ往なむ。

Q37.

涙落ちなむ。

Q38.

春風吹かなむ。

Q39.

今日なむ祭りある。

Q40.

早く立ちなむ。

Q41.

主君に仕へなむ。

Q42.

鳥も鳴かなむ。

Q43.

雨なむ降る。

Q44.

死なむと思へど、生きながらふ。

Q45.

待ちなむ。

Q46.

春来なむかしと祈る。

Q47.

鶯なむ鳴く。

Q48.

京へ往なむと思ひ立つ。

Q49.

物の音聞こえなむ。

Q50.

心安らかに過ごさなむ。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51.

いと心細く、京へ帰りなむと思ふ。

Q52.

鳥のこゑなむいとあはれなる。

Q53.

雪深ければ往なむにも、足ふみがたし。

Q54.

月隠れなむほどに。

Q55.

我が思ふ人に逢はなむ。

Q56.

都の事なむ忘れざりし。

Q57.

いざ往なむよ。

Q58.

涙の落ちなむを、人に見られじ。

Q59.

春なむ来にける。

Q60.

風吹かなむやと待つ。

Q61.

あはれ世の中なむかなしき。

Q62.

死なむこそ、いみじけれ。

Q63.

早く忘れなむ。

Q64.

我が君もすこやかにおはせなむ。

Q65.

鶯なむ鳴きける。

Q66.

物の音聞こえ来なむ。

Q67.

いざ給へ、往なむ。

Q68.

涙堰きあへぬこそ、をかしけれ。

Q69.

春の山風吹かなむ。

Q70.

いとさまよく言ひなむ。

Q71.

君なむかしこき人にて。

Q72.

山深く往なむ。

Q73.

鶯の声聞こえなむ頃。

Q74.

雪深く積もらなむ。

Q75.

月の都の人なむ遣はす。

Q76.

早く死なむと願ふ。

Q77.

やがて出でなむ。

Q78.

故里より便りもあらなむ。

Q79.

雲井なむ遠き。

Q80.

人もこそ来め、我れも往なむ。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81.

このことなむ、げに世に語り伝ふべき。

Q82.

あはれ、夢のごとくに過ぎなむ。

Q83.

心ばへ深くおはせなむ。

Q84.

木の葉のかかりなむほどに、霜置きぬ。

Q85.

あれなむいみじき翁にてはべる。

Q86.

早う死なむと、頭をたたきて泣く。

Q87.

御文遣はさなむ。

Q88.

物言はれぬ気色を、見なむ人もあらじ。

Q89.

雪なむ降りて、山も白かりける。

Q90.

賢き人なむ世を捨つる。

Q91.

我れひとり残されて、いかにしなむ。

Q92.

今日なむ心安く侍る。

Q93.

やがて我が身も尽きなむ。

Q94.

死なむ命惜します。

Q95.

心安く眠らなむと祈る。

Q96.

故院なむかく仰せられし。

Q97.

山伏に逢ひなむかしと願ふ。

Q98.

神仏の御けしき安らけくおはせなむ。

Q99.

いざ、子ども、往なむ。

Q100.

あはれと思ふ事なむ多かりける。